

市民の皆様や公園来園者の皆様からいただいた当協会への寄付金は、みどりの協会が行う自主事業（公益事業）のうち、「緑化意識の普及啓発に関する事業」に充当させていただきました。

- ・平成22年度にいただいた寄付金 608,600円
- ・寄付金を充当した「緑化意識の普及啓発に関する事業」の概要

市の花アジサイ普及事業

市の花「アジサイ」を普及し、市民の皆様により親しみを増していただくため、挿し木苗の配布や講習会等を行いました。

「アジサイフェア」(6月12日・13日)において、園内由来の挿し木苗 2,000 株を配布しました。なお、翌年度の配布用苗については、あじさいボランティアによって、約 600 株の育成が行われました。

アジサイ講演会の実施

NHK 番組「趣味の園芸」に出演の川原田邦彦氏による講演会を開催し、アジサイの美しい品種の数々を、映像を交えてわかりやすく解説していただきました。

実施日・場所 6月20日(日) サン・エールさがみはら
内 容 「身近なアジサイの楽しみ方」
参加者数 63人

アジサイ講習会の実施

あじさいボランティアの指導によるアジサイの増やし方や育て方に関する初心者向け講習会を実施しました。

実施日・場所 6月26日(土) 相模原市立総合学習センター
内 容 「挿し木の実習、栽培管理」
参加者数 30人

植樹用アジサイ苗の支援

地元自治会が管理する公共緑地に対し、相模の大風揚げに因んだガクアジサイの新品種・ビッグカイトを始めとする 62 株のアジサイ苗の提供を行いました。

支援先 上磯部自治会連合会
植栽場所 上磯部三段の滝広場緑地
支援株数 ガクアジサイ(ビッグカイト)2株・アナベル60株

アジサイ葉化病の防除

アジサイに感染し、罹病株を次々に枯死させるアジサイ葉化病について、市や関係団体との連携に基づき、感染地における防除活動を実施するとともに、メディアを通じて市民への注意喚起を行いました。

実施期間 6月～3月

場 所 緑区(旧相模湖町)

ガクアジサイ新品種「潤水」「カヤマ」の植樹式

日本アジサイ協会より市へ寄贈されたガクアジサイの新品種「潤水」「カヤマ」の植樹式を実施しました。また、このアジサイ2品種の増殖を図り、存在を内外にPRすることでシティセールスの一助としました。

実施日・場所 6月12日(土) 相模原北公園

クレマチス普及事業

相模原麻溝公園を代表する花「クレマチス」を多くの市民の皆様に親しんでいただくため、園芸研究家を招いてクレマチスの講演会及び講習会を開催しました。

クレマチス講演会の実施

クレマチス研究家の菊田穰氏を招き、日本各地を巡るカザグルマの探究や最新の栽培法などに関するご講義をいただきました。

実施日・場所 8月29日(日) 相模原麻溝公園競技場

参加者数 37名

内 容 「かざぐるまを追って」

共 催 相模原クレマチスの会

ボランティア勉強会

相模原クレマチスの会の指導により、公園で活動するボランティア等を対象に、クレマチスの栽培法や楽しみ方について講習が行われました。

実施日・場所 12月4日(土) 相模原麻溝公園・相模原市立総合体育館

参加者数 20名

内 容 「クレマチスの魅力と育て方」

カザグルマ保全事業

パテンス系クレマチスの原種で、神奈川県レッドデータブックにおいて絶滅危惧 B 類の指定を受けているカザグルマについて、昨年度に引き続き、市立博物館、相模原クレマチスの会、県立中央農業高等学校と連携して、野生株・栽培株の保全と増殖を図りました。

木の花プログラム事業(緑化普及に関する生涯学習支援事業)

3 公民館が主催する園芸教室・環境教室などの事業開催を支援し、地域における緑化意識の普及啓発を図りました。

寄せ植え教室、樹木観察などの実施 総参加者数 72名

みどりの少年団の育成

子どもたちが自然とふれあいながら仲間づくりを進めることを目的に結成されたみどりの少年団の活動に助成金を交付し、その育成に努めました。

(みどりの少年団は、市少年団本部及び24の地区少年団で構成されています。)

主な活動内容

相模原市みどりの少年団

市民桜まつり・公園フェアへの参加、相模原麻溝公園花の谷花壇への植栽実施、みどりのウォークラリー実施、県下少年団連絡会・全国植樹祭への出席など

各地区みどりの少年団

花のふれあいサービス、公園花壇の花植え、公園フェアへの参加、みどりのウォークラリー、公園美化活動など